
2013年度中間決算説明会



ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group

2013年11月

目次

【2013年度中間決算概要】

・業績概要		1
・資金利益		3
・貸出金		4
・有価証券		6
・預金・NCD		7
・円貨預貸金利回り		8
・役務取引等利益		9
・経費		10
・与信費用		11
・不良債権		12
・自己資本		13
・業績予想		14

【経営戦略】

・営業体制		16
・個人取引		18
・法人取引		20
・効率化		22
・資本施策		23
・中期経営計画の進捗		24

業績概要 (連結・2行合算)

(億円)

【ほくほくFG連結】

	13/9期	前年比	12/9期
経常収益	952	△ 104	1,057
経常利益	235	146	89
中間純利益	123	61	61

【2行合算】

	13/9期	前年比	12/9期
業務粗利益	724	△ 103	828
資金利益	614	△ 11	625
役務取引等利益	87	△ 3	91
特定取引利益	1	0	1
その他業務利益	20	△ 89	109
うち国債等債券損益	8	△ 84	93
経費(△)(臨時処理分を除く)	478	△ 6	485
一般貸倒引当金繰入(△)	-	10	△ 10
業務純益	245	△ 107	353
コア業務純益	237	△ 12	250
臨時損益	△ 11	247	△ 259
うち不良債権処理額(△)	0	△ 114	114
うち株式等損益	1	130	△ 128
経常利益	233	139	94
特別損益	△ 21	△ 19	△ 2
法人税等(△)	85	63	22
中間純利益	126	56	70
(参考)与信費用	0	△ 104	104

【ほくほくFG連結】

経常利益 235億円

(12/9期比+146億円、期初業績予想比+105億円)

中間純利益 123億円

(12/9期比+61億円、期初業績予想比+53億円)

【2行合算】

コア業務純益 237億円 (12/9期比△12億円)

…資金利益の減少、経費の減少

経常利益 233億円 (12/9期比+139億円)

…国債等債券損益の減少、与信費用の減少、株式等損益の改善

中間純利益 126億円 (12/9期比+56億円)

…経常利益増加、減損損失発生、税金費用の増加

【連単差の内訳】

(億円)

	13/9期	前年比	12/9期
差額	△ 3	5	△ 8
子会社利益	9	3	5
のれん償却	△ 10	0	△ 10
パーチェス調整	△ 0	0	△ 1
その他	△ 1	1	△ 2

業績概要 (北陸銀行・北海道銀行)

	北陸銀行			北海道銀行 (億円)		
	13/9期	前年比	12/9期	13/9期	前年比	12/9期
業務粗利益	397	△ 84	482	326	△ 19	345
資金利益	336	△ 20	356	278	8	269
役務取引等利益	45	△ 11	56	42	7	35
特定取引利益	1	0	1	-	-	-
その他業務利益	14	△ 53	68	5	△ 35	40
うち国債等債券損益	8	△ 49	58	0	△ 34	35
経費(△) (臨時処理分を除く)	258	△ 0	259	219	△ 5	225
一般貸倒引当金繰入(△)	-	△ 14	14	0	25	△ 25
業務純益	139	△ 69	208	106	△ 39	145
コア業務純益	130	△ 33	164	106	21	85
臨時損益	△ 0	185	△ 185	△ 11	63	△ 74
うち不良債権処理額(△)	△ 9	△ 90	80	8	△ 25	33
うち株式等損益	△ 1	93	△ 94	3	37	△ 34
経常利益	139	115	23	94	23	71
特別損益	△ 20	△ 18	△ 1	△ 0	△ 0	△ 0
法人税等(△)	45	43	2	40	20	20
中間純利益	72	53	19	54	3	50
(参考)与信費用	△ 9	△ 104	95	9	0	8

【北陸銀行】

コア業務純益 130億円 (12/9期比△33億円)

…貸出金利息・有価証券利息・保険販売手数料の減少

経常利益 139億円 (12/9期比+115億円)

…国債等債券損益の減少、不良債権処理額の減少、株式等損益の改善

【北海道銀行】

コア業務純益 106億円 (12/9期比+21億円)

…有価証券利息の増加、投信販売手数料の増加

経常利益 94億円 (12/9期比+23億円)

…国債等債券損益の減少、株式等損益の改善

資金利益

- 貸出金は平残が増加したが市場金利低下および他行との競争により利回りは低下
- 有価証券利息は投信解約益等もあり前年を上回った

【資金利益(国内)】

【2行合算】	(億円)		
	13/9期	前年比	12/9期
資金利益(国内)	609	△ 10	620
貸出金	535	△ 28	563
有価証券	110	5	104
預金・NCD(△)	28	△ 12	41

利息増減要因

【2行合算】	(億円)	
	平残要因	利回要因
貸出金	8	△ 37
有価証券	4	1
預金・NCD(△)	1	△ 13

【平残(国内)】

【2行合算】	(億円)		
	13/9期	前年比	12/9期
貸出金	73,075	1,145	71,929
有価証券	24,162	979	23,182
預金・NCD	100,462	3,473	96,989

【資金利回り(国内)】

【2行合算】	13/9期	前年比	12/9期
貸出金	1.46%	△0.10%	1.56%
有価証券	0.91%	0.01%	0.90%
預金・NCD	0.05%	△0.03%	0.08%

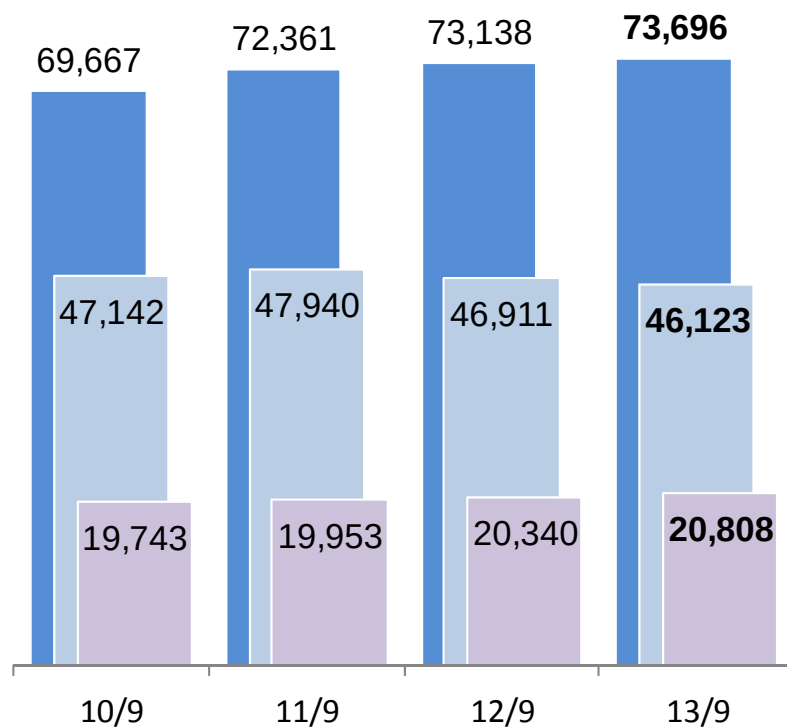
貸出金

- 貸出金 12/9期末比 +557億円(+0.76%)
- 中小企業等向け 12/9期末比 △787億円(△1.67%)

【貸出金残高】

(億円)

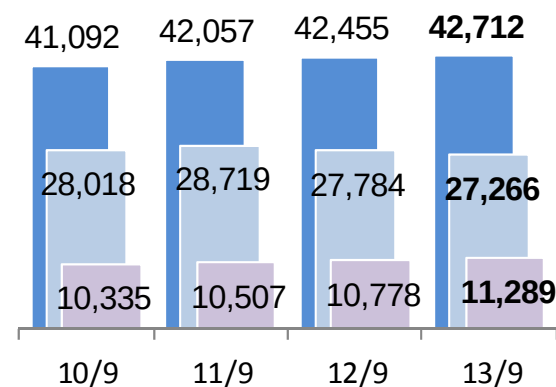
2行合算



■ 貸出金
■ 中小企業等
■ 個人ローン

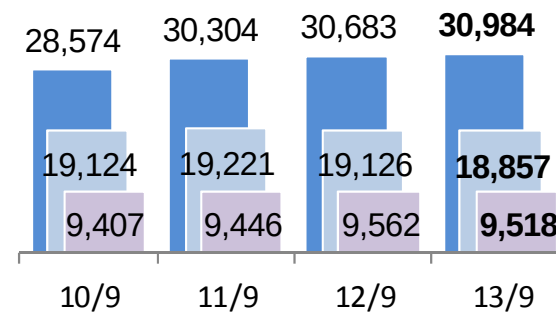
(億円)

北陸銀行



(億円)

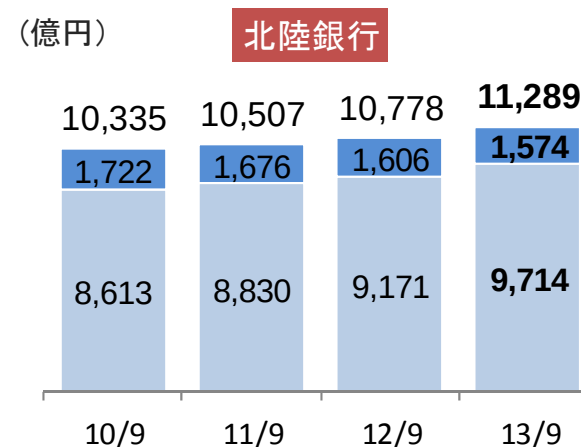
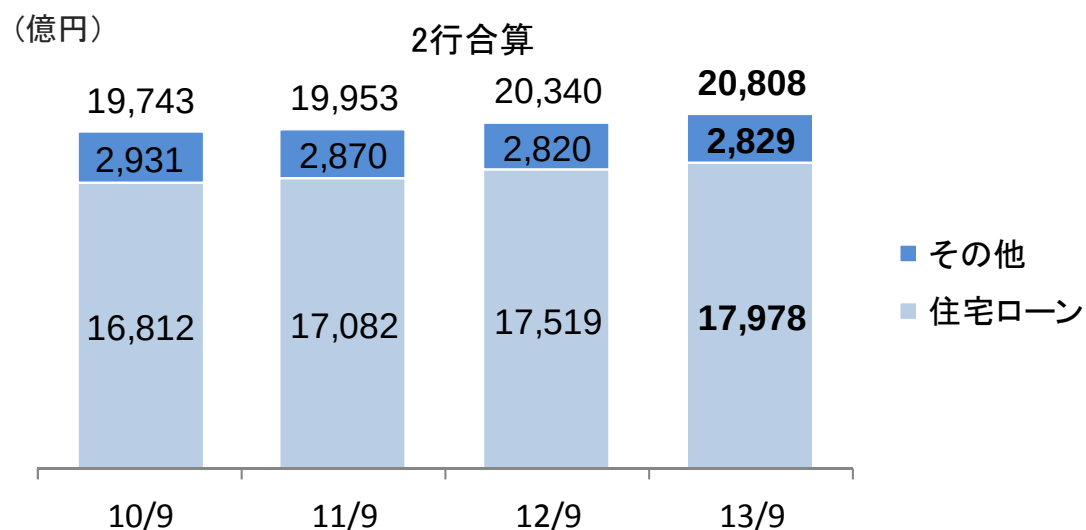
北海道銀行



貸出金

- 個人ローン 12/9期末比 +467億円(+2.29%)
- 住宅ローン 12/9期末比 +458億円(+2.61%)

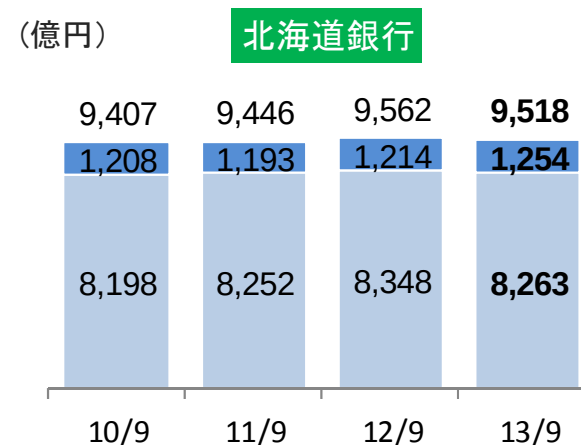
【個人ローン残高】



【住宅ローン実行額】

(億円)

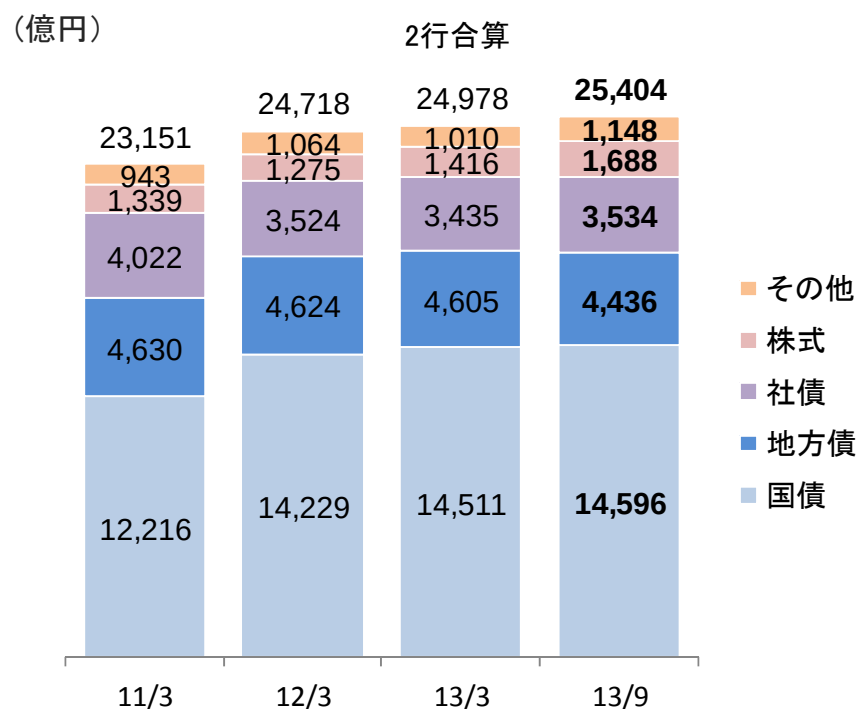
	10/上	11/上	12/上	13/上
北陸銀行	493	474	552	605
北海道銀行	405	342	387	340
2行合算	898	817	940	946



有価証券

- 有価証券残高は株式を中心に増加
- その他有価証券の評価損益は13/3期末比+55億円

【有価証券残高】



円債デュレーション (2行合算)

	11/3	12/3	13/3	13/9
デュレーション	3.88年	4.18年	3.88年	3.73年

※ヘッジ考慮後

【その他有価証券の評価損益】

(億円)

2行合算	13/9末	増減	13/3末
その他有価証券	886	55	831
債券	390	△ 79	469
株式	445	141	304
その他	49	△ 6	56

【円債残高、利回り、金利リスク】

(億円)

2行合算	13/9末	増減	13/3末
円貨債券残高	22,567	14	22,552
うち変動利付国債	4,091	71	4,019
期中平均利回り	0.72%	△0.06%	0.78%
VaR	281	△ 45	326

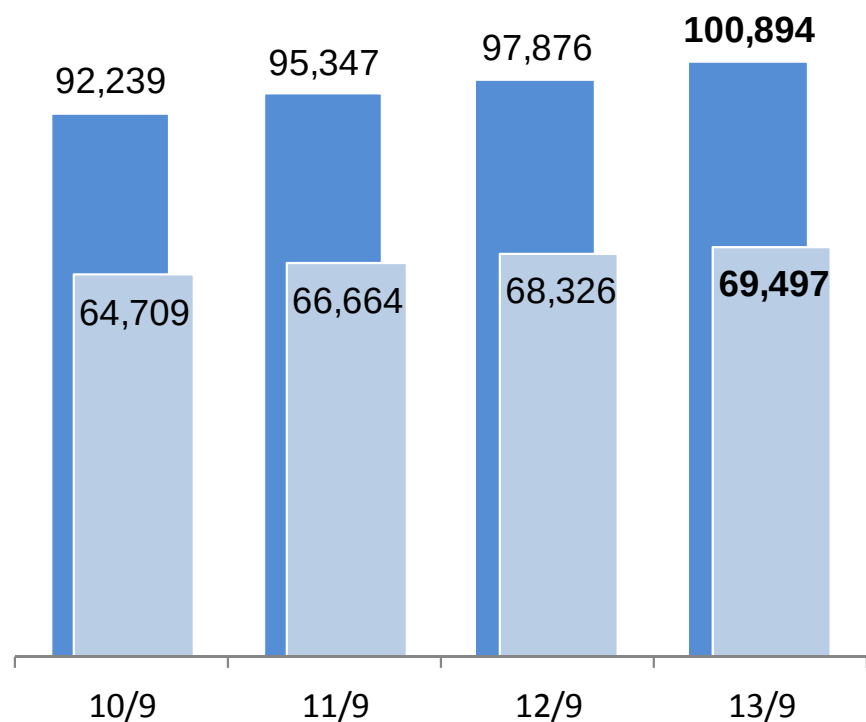
預金・NCD

- 預金・NCD 10兆 894億円 12/9期末比+3,018億円(+3.08%)
- 個人預金 6兆9,497億円 12/9期末比+1,170億円(+1.71%)

【預金・NCD残高】

(億円)

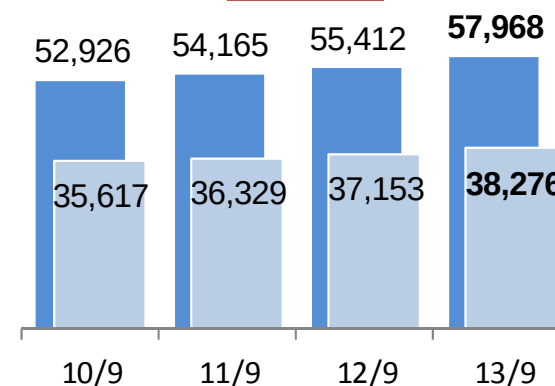
2行合算



■ 預金・NCD
■ 個人預金

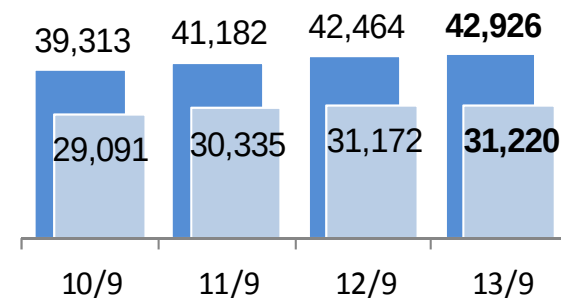
(億円)

北陸銀行



(億円)

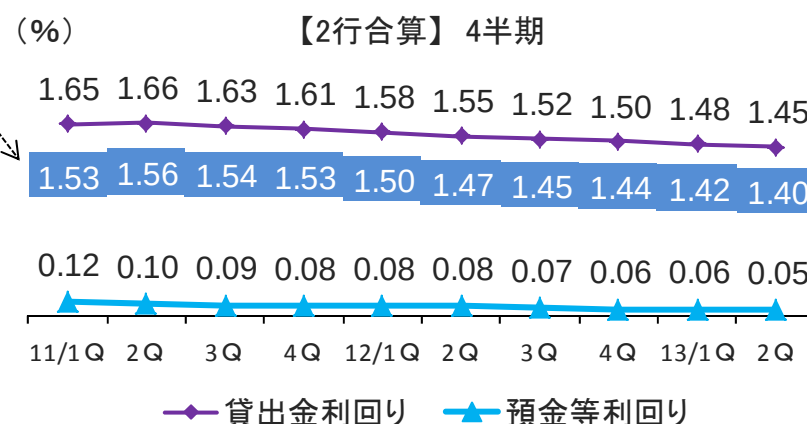
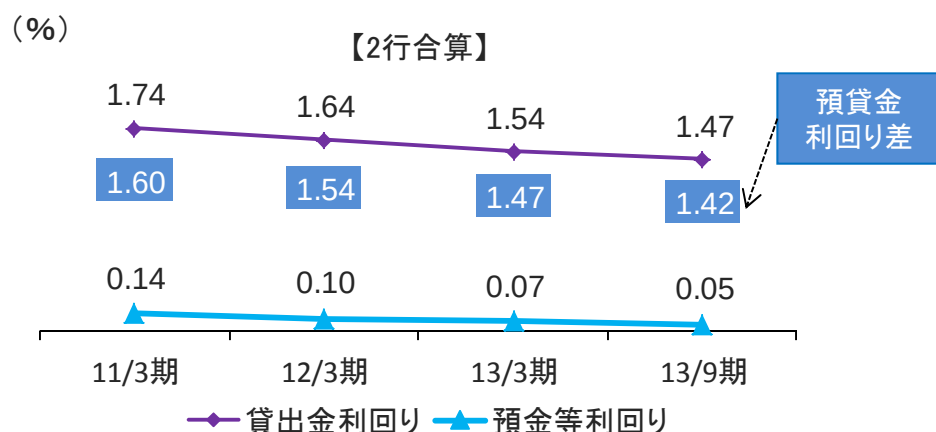
北海道銀行



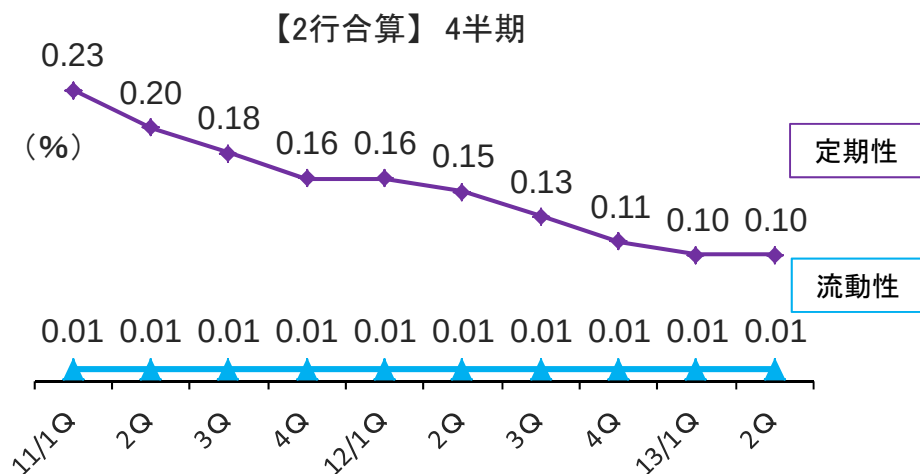
円貨預貸金利回り (内部管理ベース)

- 預金利回りは金利の低い流動性残高が増加したため13/3期比低下
- 貸出金利回りは市場金利低下および他行との競争により利回りが低下

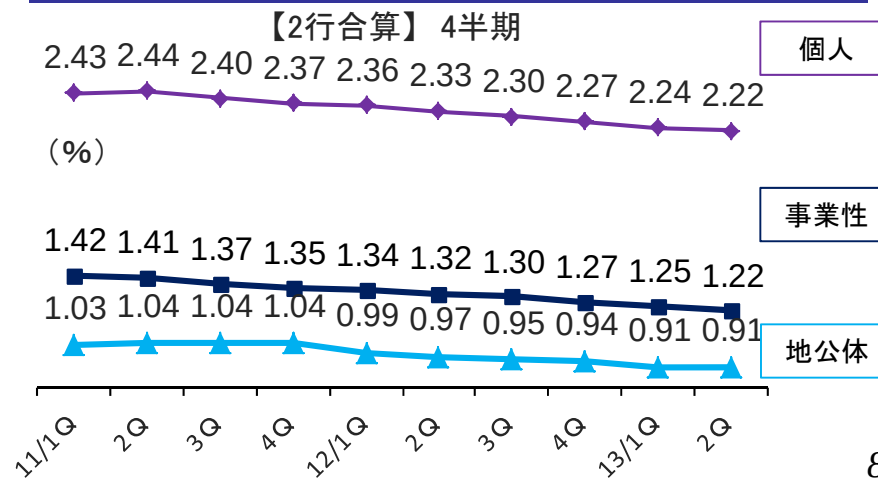
【円貨預貸金利回り差】



【円貨預金利回り】



【円貨貸出金利回り】



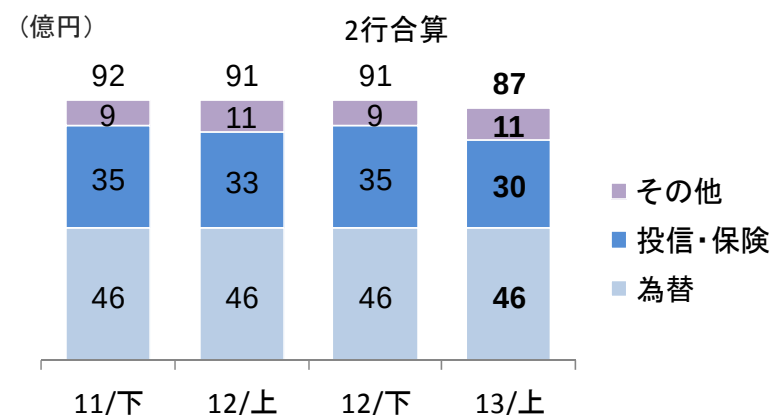
役務取引等利益

- マーケット環境の好転もあり投信販売手数料が増加
- 持続的な販売収益確保に向けた販売態勢面に重点

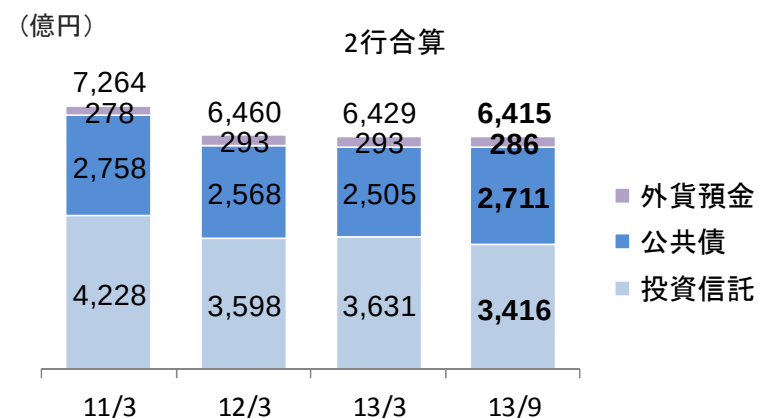
【非金利収入】

		(億円)	
2行合算		13/9期	前年比
			12/9期
(1) 役務取引等利益		87	△ 3
役務取引等収益		164	△ 2
うち受入為替手数料		55	△ 0
うち投資信託手数料		21	4
うち保険手数料		8	△ 8
役務取引等費用(△)		76	1
うち支払為替手数料(△)		9	0
うちローン保険料・保証料(△)		49	1
(2) 特定取引利益		1	0
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)		11	△ 4
うち外為売買損益		8	1
うち金融派生商品収益		3	△ 5
うち債券オプション		0	3
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)		100	△ 8
(5) コア業務粗利益		715	△ 19
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)		14.10%	△0.74%

【役務取引等利益】



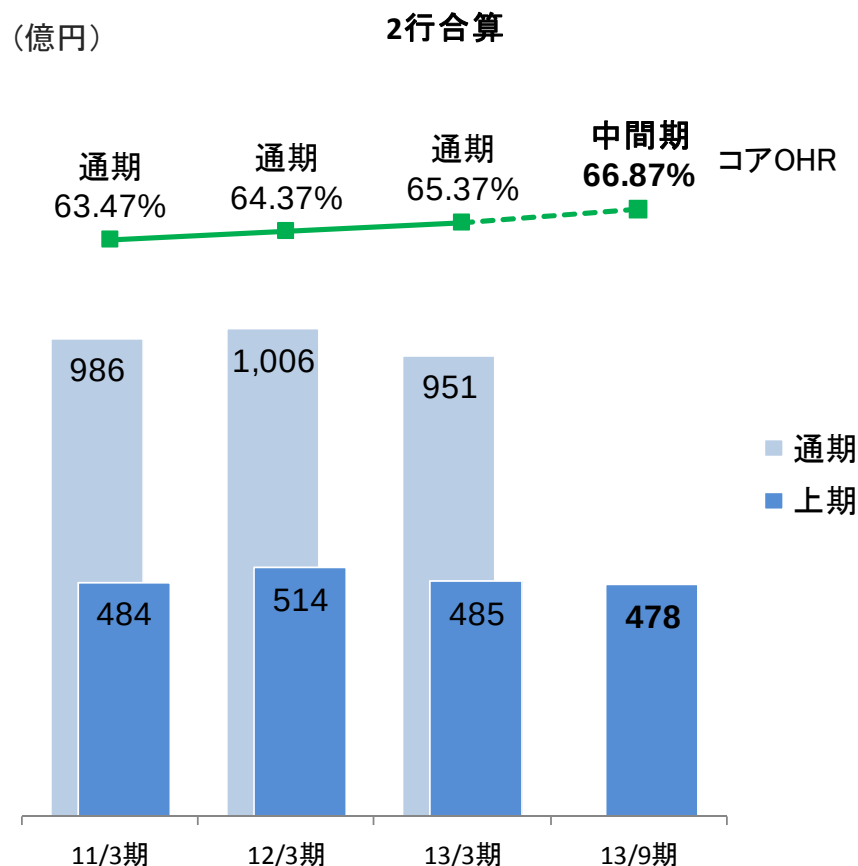
【投資型金融商品(個人)の残高】



経費

- 機械化関連費用を中心に物件費が減少
- コアOHRは66.87%

【経費・OHR】



【増減要因】

(億円)

2行合算	13/9期	前年比	12/9期
人件費	222	△ 1	224
物件費	232	△ 3	236
税金	23	△ 0	24
経費	478	△ 6	485

【従業員数】

(人)

2行合算	13/9期末	前年比	12/9期末
正社員	5,311	△ 38	5,349
スタッフ	3,182	9	3,173

- ・従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員
- ・スタッフ数＝嘱託＋契約＋臨時雇＋派遣・直接雇用パート

➤ 不良債権処理額の減少により与信費用が減少

【与信費用要因】

(億円)			
【2行合算】	13/9期	前年比	12/9期
与信費用	0	△ 104	104
一般貸倒引当金繰入	[△3] -	10	△ 10
不良債権処理額	0	△ 114	114
個別貸倒引当金繰入	[2] -	△ 108	108
貸倒引当金戻入益	→ 0	0	-

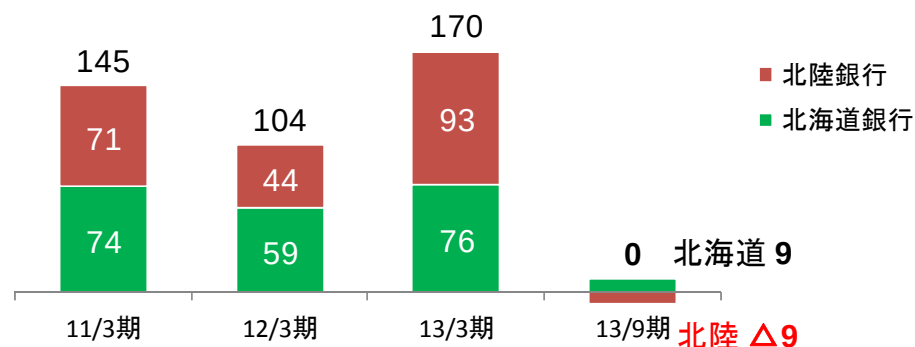
不良債権処理額発生要因 (億円)

	13/9期	前年比	12/9期
債務者区分悪化	54	△ 112	166
債務者区分改善	△ 7	34	△ 41
地価下落	10	△ 5	16
その他回収等	△ 57	△ 31	△ 26

【与信費用】

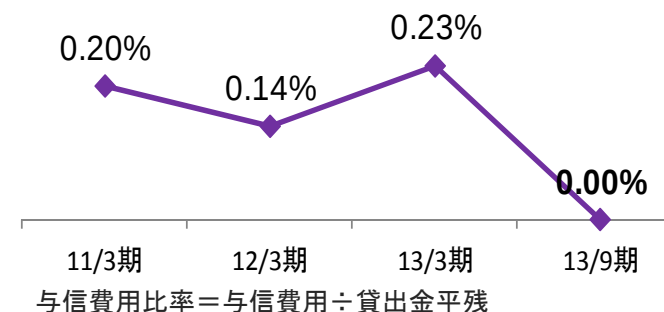
(億円)

2行合算



【与信費用比率】

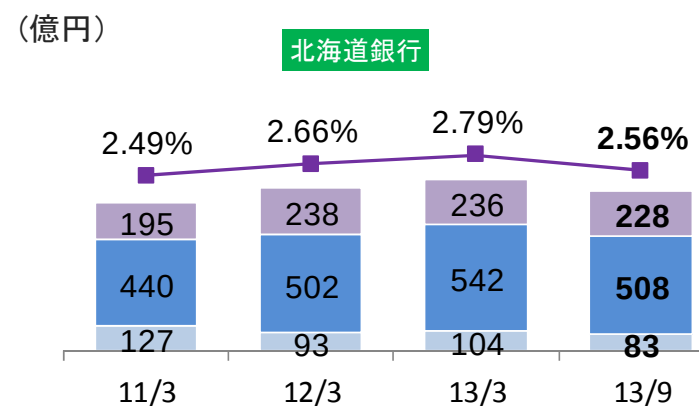
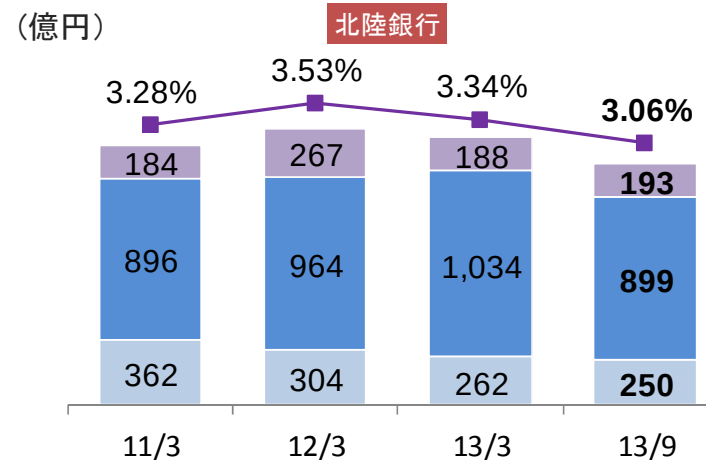
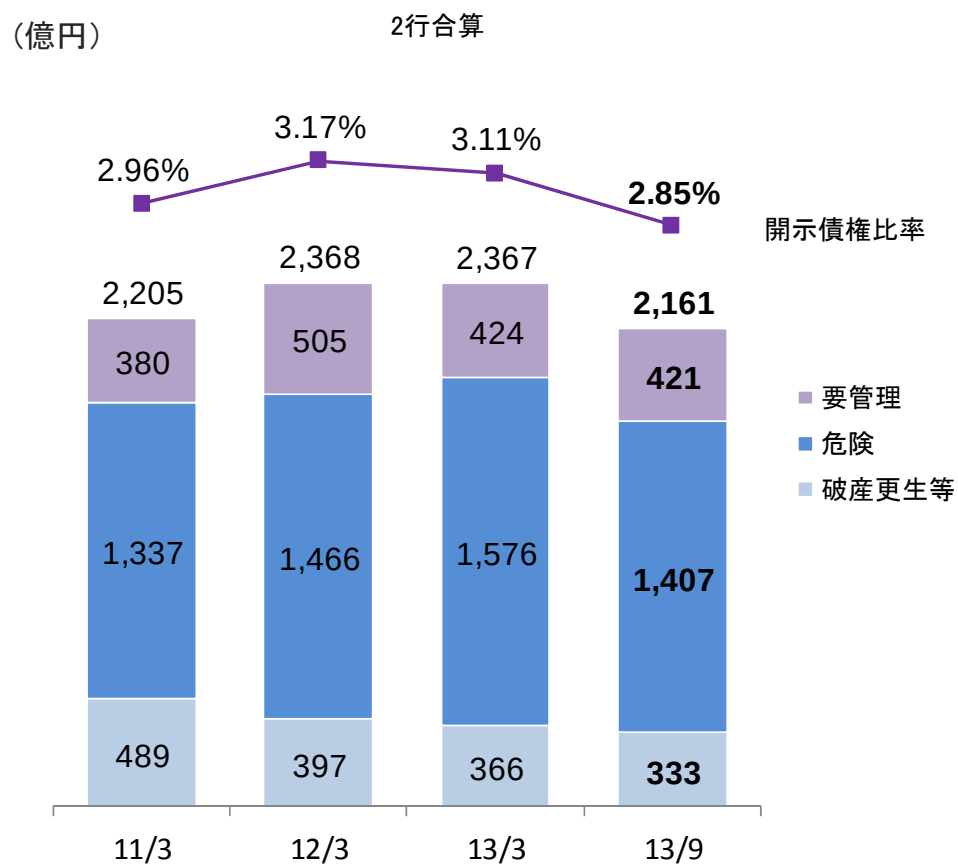
2行合算



不良債権

➤ 開示債権比率 2.85% 13/3期末比△0.26ポイント

【金融再生法開示債権】



自己資本

➤ 自己資本比率12.04% 13/3期末比+0.16ポイント

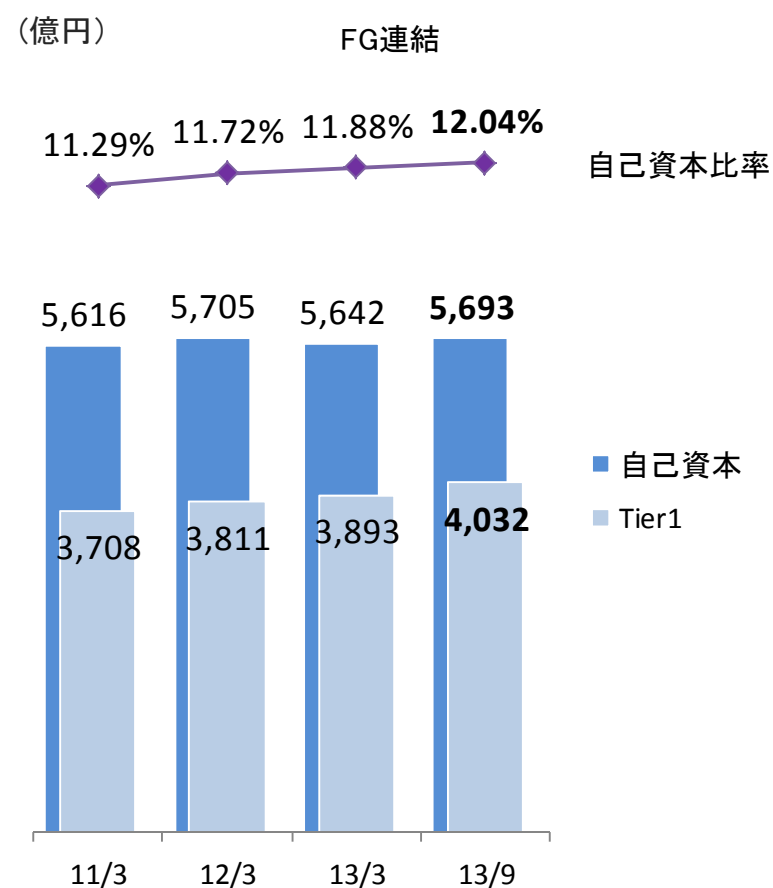
【自己資本・リスクアセット】

(億円)			
FG連結	13/9期末	増減	13/3期末
自己資本合計	5,693	50	5,642
Tier1	4,032	139	3,893
うち優先株	537	0	537
Tier2	1,668	△ 89	1,757
リスクアセット	47,283	△ 184	47,468
信用リスク	44,409	△ 151	44,560
オペレーショナルリスク	2,873	△ 33	2,907

【銀行勘定の金利リスク】

2行合算	13/9期末	増減	13/3期末
金利リスク量 (99パーセンタイル値)	129億円	△ 573億円	702億円
アウトライヤー比率	2.27%	△10.17%	12.44%

【自己資本比率】



業績予想

【14/3期 業績予想】

(億円)

FG連結	中間期	通期予想	前年比
経常収益	952	1,870	△ 121
経常利益	235	335	41
当期純利益	123	180	△ 1

【14/3期 配当予想】

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	3円75銭	3円75銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

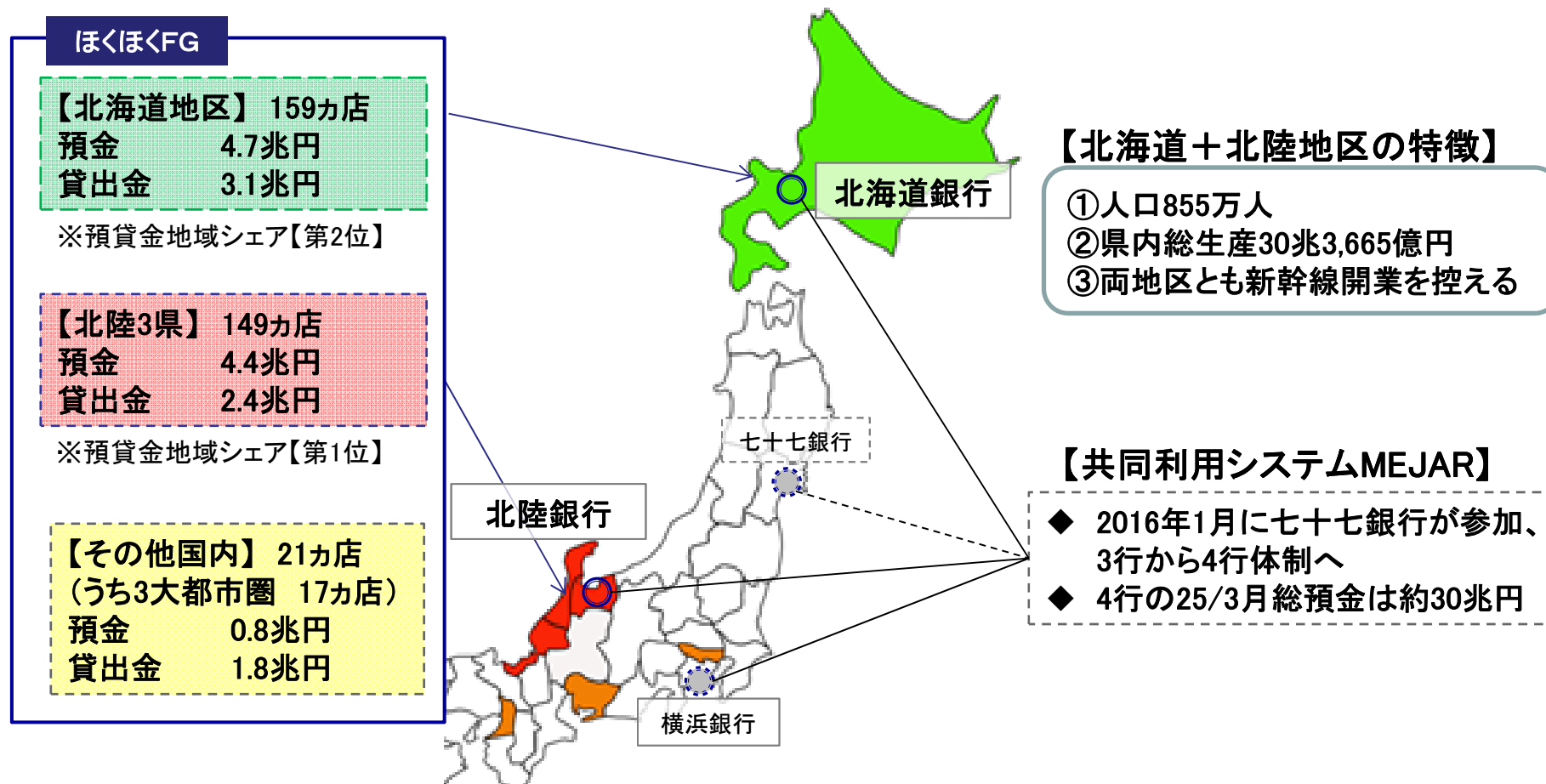
【14/3期 業績予想】

	2行合算			北陸銀行単体			北海道銀行単体 (億円)		
	中間期	通期予想	前年比	中間期	通期予想	前年比	中間期	通期予想	前年比
経常収益	888	1,710	△ 136	485	940	△ 90	402	770	△ 46
コア業務粗利益	715	1,400	△ 55	389	770	△ 53	326	630	△ 1
経費	478	950	△ 1	258	510	0	219	440	△ 2
コア業務純益	237	450	△ 53	130	260	△ 54	106	190	0
与信費用	0	85	△ 85	△ 9	30	△ 63	9	55	△ 21
経常利益	233	340	39	139	215	31	94	125	8
当期純利益	126	190	△ 5	72	120	△ 3	54	70	△ 2

経営戦略

ほくほくFGの営業体制（国内）

- 広域ネットワークと効率化効果を求め2004年に経営統合（資産規模は地銀4位）
- 北海道、北陸、3大都市圏に329店舗のネットワーク
- 共同利用システムMEJARによりシステム関連コストを低減



ほくほくFGの営業体制（海外）

- 駐在員事務所に加えて提携金融機関との連携により顧客の海外進出を支援
- 情報提供から資金調達まで幅広く対応



■ 海外業務体制

- ・ 9の海外拠点で顧客の海外進出を支援
- ・ 海外トレーニー、海外研修、語学留学等により国際感覚を持った人財を育成

提携金融機関

【日本】 山口銀行	【イギリス】 （アジア全域） スタンダード・チャータード銀行
【中国】 中国銀行、交通銀行、上海銀行	【ロシア】 ズベルバンク、VTB銀行、VTB24銀行
【ベトナム】 ベトコム銀行	【ドイツ】 ドイツ銀行
【タイ】 カシコン銀行	【インドネシア】 バンク・ネガラ・インドネシア
【インド】 インドステイト銀行	【フィリピン】 メトロポリタン銀行

欧米

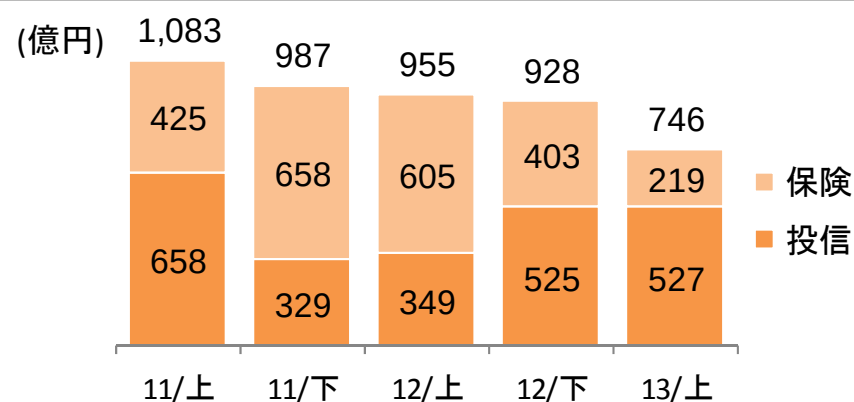
ロンドン

ニューヨーク

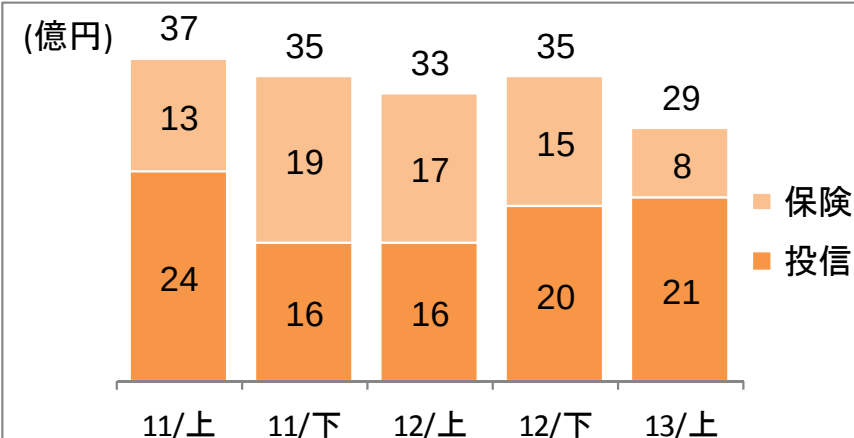
個人取引（預かり資産販売）

➤ 投信保険収益は13年上期をボトムに反転を目指す

【投信保険販売額】 2行合算



【投信保険収益額】 2行合算



■ MCIF共同センターの稼働(25/3月)

- 単独では困難な全国規模のデータを活用
- 地銀6行でノウハウ共有、コスト分散

■ EBMの稼働(25年5月)

- 顧客ニーズに応じた適切な提案
- 販売スキルの標準化

■ タブレット端末の導入(25年8月)

- 販促ツールによる視覚化、CRMとの連携
- 営業活動量の増加、紛失漏洩リスクの低減、コンプライアンス強化

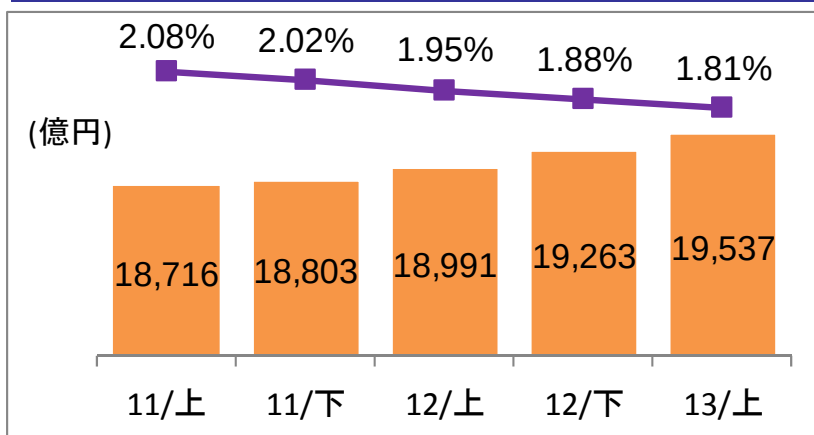
■ NISA対応

- 低リスク、低コスト、低頻度分配商品の導入

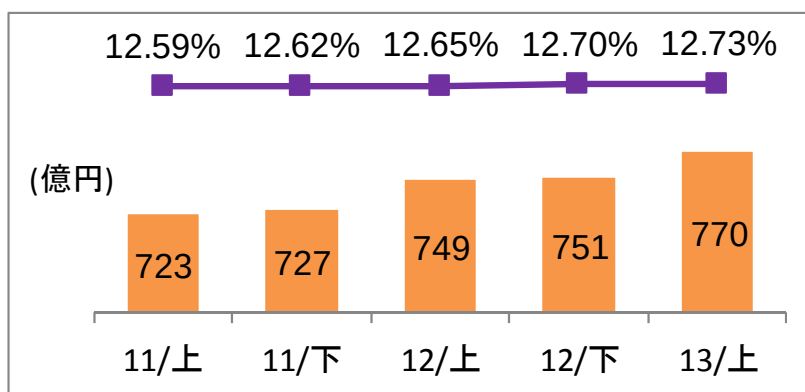
個人取引（消費者ローン）

➤ 消費者ローンについては商品ラインナップの充実と顧客との接点を重視

【住宅系ローン平残・利回り】 2行合算



【カードローン平残・利回り】



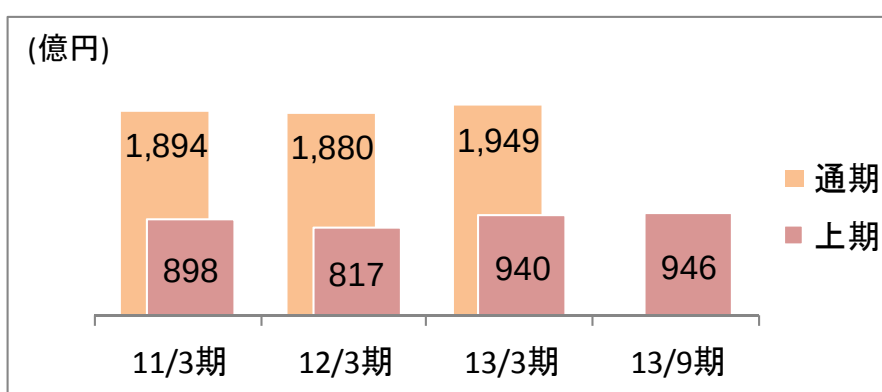
■ 住宅ローン

- ・ 住宅ローンプラザや個人特化店舗で休日営業を展開
- ・ 住宅業者とのリレーションを強化

■ カードローン

- ・ テレビCM等による広宣の強化
- ・ ATMカードローン(北海道銀行)等の利便性の高い商品を提供

【住宅ローン実行額】



法人取引（取引の拡大）

- 顧客との接点を強め、企業課題へのアプローチを切り口として取引を拡大
- 特色のある取組で顧客ニーズに応える

【販路拡大・海外ビジネス支援】

■ ビジネスマッチング

- ・ 北陸新幹線開業に向けて、地元の金融機関や大学と「ものづくり」に関するビジネスマッチングを開催
- ・ 地元の特産品である水産物等の資源の販路拡大を目指した大手スーパーや百貨店等のバイヤーとの商談会を開催

■ 海外ビジネス支援

- ・ 欧米、中国、タイ、シンガポール、ロシアの駐在員事務所のネットワークを活用
- ・ セミナー等による現地情報などの海外ビジネスに関する情報提供
- ・ SBLCによる資金調達支援や外貨建て貸出・現地直貸の実行

ビジネスマッチング成約件数

12/3期	13/3期	13/9期
409件	401件	104件

【ロシア農業関連ビジネス】

■ アグリサポートビジネス in アムール州

- ・ 農業ビジネスにおける技術・経営支援
- ・ 日本への飼料輸出による飼料の安定調達
- ・ 物流や販路構築に携わり、他の分野での日本企業のロシア進出を支援

Step1 北海道の寒冷地農業技術の実証と確認

Step2 事業規模の拡大、販路・流通の確立

Step3 配合飼料原料の日本への輸出

法人取引（事業承継・M&A・経営改善支援）

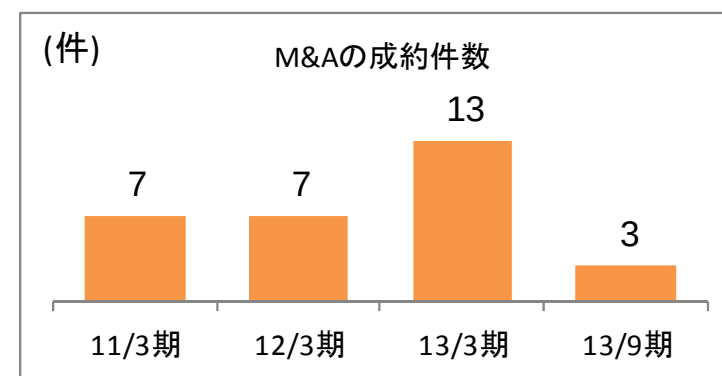
- 顧客の経営課題の解決を支援
- 金融円滑化法下と同様の経営改善支援体制を継続

【事業承継・M&A】

- 事業承継・M&A機能の強化
 - ・ 外部専門機関との連携
 - ・ トレーニー実施、研修会による人財育成

人員体制（25/9月末現在）

	専担者	兼務者
M&A	2人	2人
事業承継	3人	6人



【経営改善支援】

- 専担部署＋シンクタンク機能＋営業部門による多面的な経営改善支援
 - ・ 北陸銀行産業調査部、道銀地域総合研究所
 - ・ ビジネスマッチング、M&A
- 支援協議会、地域活性化支援機構、再生ファンド等の外部機関の活用

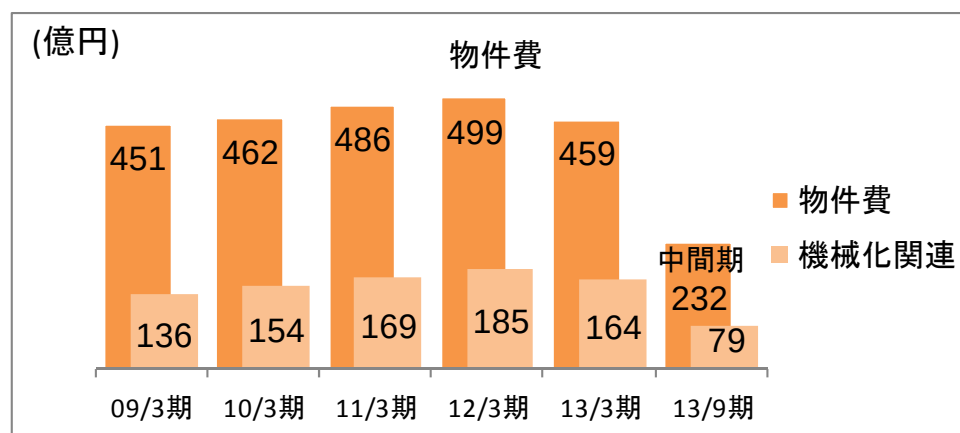
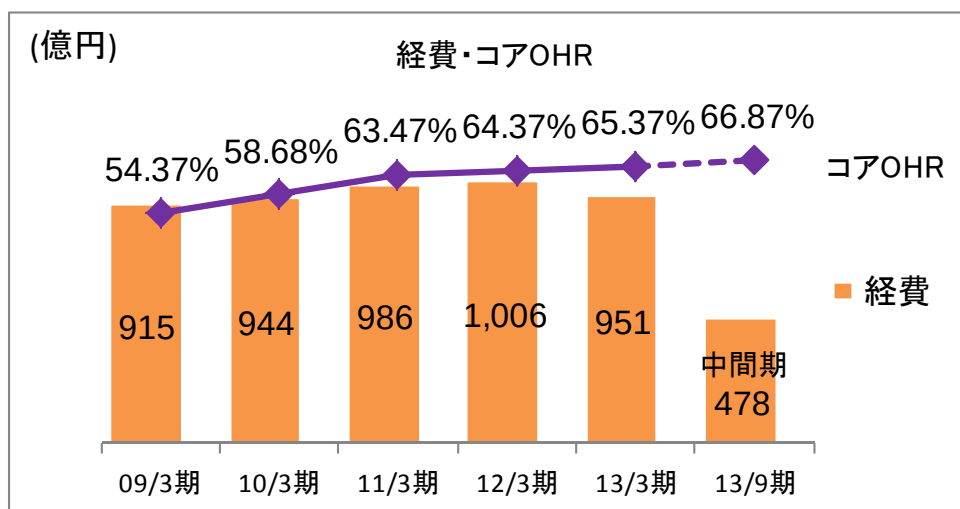
【取り組み状況】 2行合算

	12/3期	13/3期	13/9期
経営改善支援先	961	902	822
ランクアップ先	78	86	44

※先数には正常先を含まない

- システム投資は2011/5月のMEJAR移行でピークアウト
- 消費税増税を見据えて経費削減に取り組む

【コアOHR・物件費】 2行合算



■ 経費削減

- ATM設置状況の見直しや店舗賃借料等の見直し
- 2行一括調達による費用抑制
- 2016/1に共同利用システムに七十七銀行が合流し4行体制
⇒利用料、開発費の削減

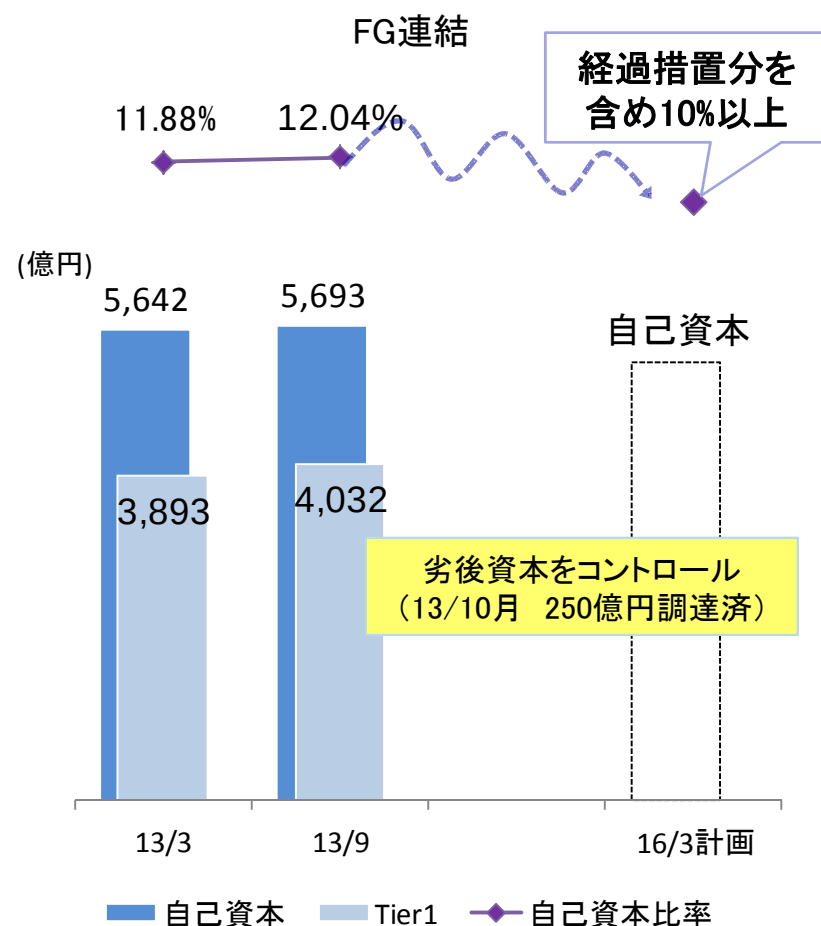
■ 効率向上

- 2行で共通化や統合できる業務範囲の拡大
- 他金融機関とのバックオフィス共同化 (文書管理センターの活用)

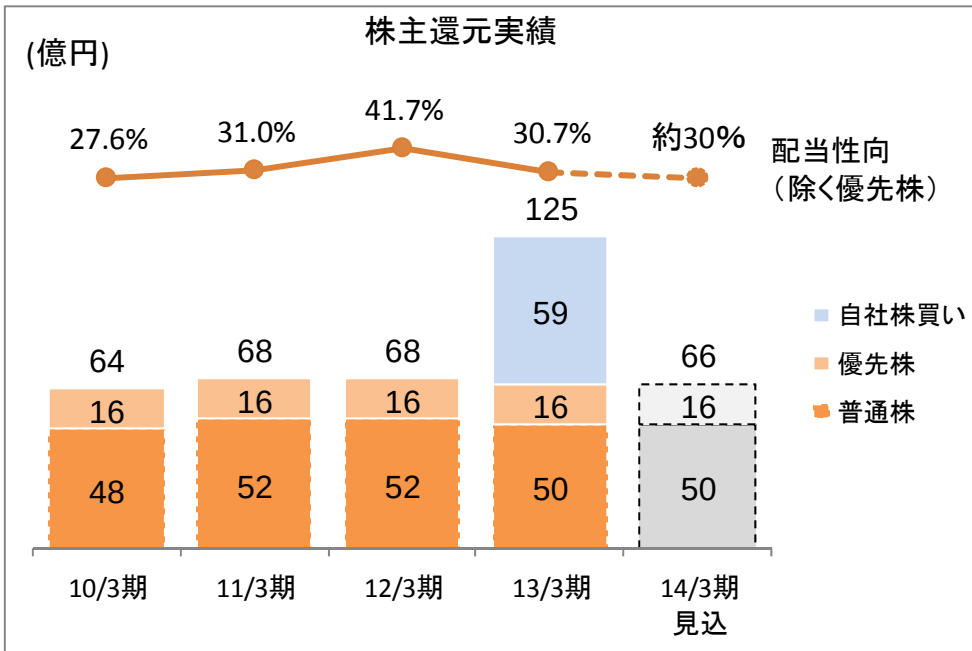
資本施策

- 2016年3月まで（現中計期間）は自己資本比率10%以上を維持
- 配当性向は30%以上（除く優先株）を目標

【自己資本比率】



【株主還元】



普通株配当額推移(一株当たり)

単位: 円

07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3
2.00	2.50	3.00	3.50	3.75	3.75	3.75

中期経営計画 “GO for IT !” の進捗

【主要計数の進捗】

	13年3月期	13年9月期	16年3月期計画
総預金平残	9兆7,903億円	10兆1,090億円	10兆1,100億円
貸出金平残	7兆2,778億円	7兆3,271億円	7兆4,800億円
コア業務純益	503億円	237億円	470億円 14/3計画:427億円
連結当期純利益	181億円	123億円	185億円
連結自己資本比率	11.88%	12.04%	10%以上
OHR (コア業務粗利ベース)	65.37%	66.87%	67%
不良債権比率	3.11%	2.85%	2%台

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:東)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL: honsa2@hokuhoku-fg.co.jp
<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。